

JACR委員会報告 [安全管理委員会]



西野 善一 副理事長

金沢医科大学医学部公衆衛生学講座

大木 いずみ 栃木県立がんセンター
茂木 文孝 群馬県健康づくり財団
伊藤 秀美 愛知県がんセンター研究所
金村 政輝 宮城県立がんセンター研究所
森島 敏隆 大阪国際がんセンター

平成28年度よりJACRは国立がん研究センターより「都道府県がん登録室外部監査業務」を受託している。昨年度は10県に対して安全管理に関する外部監査を実施した。その概要は以下のとおりである。国立がん研究センターとの契約後に安全管理委員会委員を含む23名から構成される外部監査委員会が組織され、平成29年9月に監査方針および監査対象となる都道府県がん登録室を決定した。対象都道府県への通知とともに登録室の設置、業務状況に関するアンケートへの回答および規程類等の提出を依頼し、これらを元に担当監査人3名による事前評価が行われた。その後、同年11月から平成30年1月にかけて担当監査人が現地を訪問し、「全国がん登録における個人情報保護のための安全管理措置マニュアル」(以下「マニュアル」)の基本対策の実施状況の確認を中心とした監査が行われた。現地での監査に基づいて作成した監査結果報告書を平成30年1月から2月に各県に送付し、各県からは指摘事項に対する欠点改善報告書を同年3月までに受領した。監査結果をまとめた報告書を国立がん研究センターに提出して監査業務を完了した。外部監査の結果は国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ(https://ganjoho.jp/reg_stat/can_reg/national/prefecture/audit.html)上に公開されている。

また、「マニュアル」の基本対策である「安全管理措置チェックリスト」を用いた内部評価の実施を促進するために同チェックリストのオンライン版の開発をすすめており、今年度前半の公開を目指している。なお、「マニュアル」は今年3月に第1版の改定版が出され上記国立がん研究センターのホームページ上に公開されている。改定版では、医療機関からの届出に利用される「がん登録オンラインシステム」の整備や「全国がん登録 情報の提供マニュアル」の公表をふまえて基本対策の追加や業務手順例の変更などが行われている。特に人的安全管理対策では、基本対策として従事者に対する年1回の安全管理措置教育とともにテストの実施と結果に応じた再教育等の対応が加えられており、これらの支援が安全管理委員会での今後の検討課題になると考えている。

JACR委員会報告 [J-CIP委員会]



猿木 信裕 理事長

群馬県衛生環境研究所

片山 佳代子 神奈川県立がんセンター
伊藤 ゆり 大阪医科大学研究支援センター
杉山 裕美 放射線影響研究所
山下 夏美 四国がんセンター
松坂 方士 弘前大学医学部附属病院医療情報部
伊藤 秀美 愛知県がん研究センター
寺本 典弘 四国がんセンター
阪口 昌彦 神奈川県立がんセンター臨床研究所
中川 弘子 名古屋市立大学大学院
中田 佳世 大阪国際がんセンター

JACRでは、がん患者をはじめとした国民のよりよい生活を実現するために、患者目線のがん登録情報の発信を目指してJ-CIP委員会を組織し、2017年6月、松山で開催された第26回学術集会時に、全国がん患者団体連合会(全がん連:天野慎介理事長)と包括的連携に関する協定Japan Cancer Information Partnership(J-CIP)を締結して活動を開始しました。J-CIP委員会は、現在、監事の片山佳代子先生、理事の伊藤秀美先生、専門委員の伊藤ゆり先生をはじめ、多くのメンバーで活動しています。

J-CIPでは、①J-CIP Local(地域に密着したがん情報の発信)、②J-CIP Global(国際標準の質の高いがん登録資料の作成)、③J-CIP Empower(がん登録資料の活用支援)の3つの柱が活動の中心です。

JACRは2017年12月に大阪国際がんセンターで開催された全がん連が主催する「がん患者学会2017」において、「医療施設別データの見方:生存率や統計の基本と海外での事例紹介」と題したJ-CIPセミナーを開催し、生存率を読み解くポイントや英国における病院評価の事例(市民による格付け評価)を紹介しました。こうしたセミナーを開催できたのも協定締結の成果と考えます。

日本のがん登録の精度は向上してきています。今後は、J-CIPの3つの柱を中心に活動の輪を広げ、まず、群馬県をモデルに、J-CIP Localとして地域に根ざしたがん登録情報をわかりやすく発信するため、近日中にJ-CIPのホームページを開設したいと思います。さらに、全がん連との情報交換、研修会・セミナー・シンポジウムの開催、がん登録情報の分析支援等、様々な活動をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。